一般質問

この一般質問の内容は、会議録（録音テープ）に基づいて各議員が原稿をまとめ、編集委員会が最終確認をしたものです。

21世紀の西原のまちづくり!!
県道38号線浦添～西原線地域整合性を問う!!

大城好弘　議員

問 県道三八号線浦添～西原線は平成十四年度決定に向け地域説明会が実施されているがその進捗についてお聞きします。

都市計画課長 事業主体である中部土木事業所からの呼びかけで県道浦添～西原線に近接した自治会の意見を聞き、要望を勘案しながら原案作り、関係地権者を把握した後、再度説明会を行う予定であります。

問 給食センター附近の県道一五五号線と浦添～西原線との連結される図面、計画がなく、小波津集落への車の進入が多くなることが予想されます。翁長、池田、幸地からの利便を考えると、側道の連結は必要と思うが見解を求めます。

都市計画課長 県道一五五号線の上方、約二〇メートルを浦添～西原が通過することになる。両路線の連結については、利便性、実用性は感ずるが、投資効果等、国の認可基準の問題等があり最終的には県の判断によります。

問 中部製糖跡地（サンエー）附近国道三二九号から金秀後方、小波津、津花波線までの区間は早期整備が不可欠であるが県に要請する考えはないかお聞きします。

町長 県道三八号線、あるいは中部製糖跡地利用の関連での三八号線のバイパス、さらに現道整備の問題がありますが、ご指摘のようにサンエー、マリンタウンプロジェクトの関連も一体的に整備が必要だと認識しており、県とともに充分調整していきたいと考えております。

バイパス決定に伴う、土地区画整理事業の導入を!!

問 幹線道路は西原のまちづくりに、基本、根幹をなす重要な道路であり、当然、農振地域である小波津、呉屋、津花波周辺は農地を除外し、早期の土地区画整理事業の導入が必要であるが当局の考えをお聞きします。

区画整理課長 基本構想の策定業務をやっており、現在の中央公民館周辺の公共公益施設ゾーンを中心に今指摘があります。小波津、呉屋、津花波等を含め、約二三〇ヘクタールの調査業務を地権者との合意形成、都市計画の那覇広域の線引き見直決定を平成十七年、実施計画は平成十八～二〇年度以降実施予定であります。

船たまり場の役目
教育行政について
台風の被害について
坂田児童館について

宮城秀功　議員

問 現在の船たまり場は広くて大きくなって結構でありますが設備面で議会のあるたびに、取上げてきましたが解決策がなくとうとう今回の台風で被害を受けてしまいました。そこで町長に伺います。

船たまり場は役目をなしているか。設備面はどうですか。管理者はどこか。水産業の指導はどうなっていますか。被害を出さない為管理者と話し合いたいがどうですか。今後たまり場はどのように考えますか。

町長 漁業関係の問題については、原因についてもわかりました。場合によっては県と町と組合が一緒になって町を通してやった方がいいだろうと考えています。

産業課長 設備については十分と申しませんが年次的改善したい。指導に関しては水産業普及センターが技術指導する事になっています。台風十六号の被害についても確認しており、今後管理者に対して強く要請していく考えであります。

問 新聞紙上で最近さわがれている自衛官及び公務員医師による児童買春、県外では女子中学生の死亡事件及び児童虐待事件が多く、子供達にあたえる影響は大と思いますが西原町はどうですか。

教育長 児童生徒を取り巻く環境は厳しく、学校、地域が子供達を育成していかなければ深刻な問題が発生するので皆さんの青少年育成に協力をお願いしたい。

学校教育課主幹 事件後に携帯電話、PHS等のアンケートの結果、両中学で一七二名、出会い系サイトに電話してた生徒が五三名おりますので関係機関と連携しまして改善していきます。

問 台風十六号の影響での被害額はどの位か？

総務課長 まず住宅被害で一件が一部破壊と町民体育館の屋根の損壊、中学校の水漏れ、ガケ崩れ西原第二団地、しらゆり保育園、水産被害で一五〇万、農産物で一、〇七一万六〇〇〇円になっています。

問 坂田児童館の進捗状況、開館のメドはいつですか。利用できる状態ですか。

翁長・上原線は一方通行ですか。今坂田児童館は棚原から見れば一方通行になっている訳です。翁長、上原線は両面通行ですが翁長、棚原線は一方通行で児童館に行きますと棚原に戻る生徒は遠回りになります。そこで翁長、棚原線に直結できる道はできないかと言う事です。

土木課長 土木課としてはコミニティ道路の完成に取組んでいます裏側の周辺土地状況ですが、今後道路整備、その他の都市マスタープラン等の整備等を勘案しながら今後の検討課題と思っております。

町財政について

城間義光　議員

問 異常な程の高い支持率の下、小泉内閣ができ「聖域なき構造改革」とマスコミをにぎわし、国民にも痛みを伴う改革であると言われ、平成十三年度から地方交付税も影響を受け、本町も減額された。

今後、地方交付税が減額されていく中で町はどの様に対応すべきなのか伺う。

町長 構造改革と言葉はかなり耳慣れているが、削減方針が全面に出てきて地方への税源の委譲等は、不透明で大変心配している。時に七月五日に全国町村会臨時大会が三〇年ぶりに開催され、自主財源や特定財源の一般財源化の問題等の善処策を国会に要請している状況である。頼みの綱は税収と自主財源の確保であり、課税客体を把握して徴収率の向上を図ることに尽きると考えている。

問 平成十二年度の決算における法人町民税は、二億二、一二五万円で町民税全体の四分の一（二二、八％）弱を占めているが、法人税収を短期、中長期的に的確に把握するため、町内企業の景気動向を調査するべきではないか。

税務課長 景気については、マスコミ等、政府の景気動向により把握している。

大口事業者は、非公式には可能かと考えている。

問 平成十二年度における一般会計の収入未済額（滞納額）は、地方税三億二、〇九六万円、学校給食費四、五〇二万円、保育園保育料三、二七万円、幼稚園保育料三、七二万円などとなっている。特別会計の国民健康保険税一億六、八九三万円、介護保険税九四万円の滞納額となっているが、今後、徴収対策をどの様に強化していくか伺う。

町長 税等の徴収方法については、これまで同様のやり方ではなくて、改善すべきことや工夫すべきこと、内部体制の強化を図ることもあり、一二月までには一定のメド付けをしたい。

小波津川について

問 小波津川の二級河川格上げの進捗状況と二級河川格上げを早急に実現させるため、町民総決起大会を開催してはどうか伺う。

町長 今年の十二月までには県と合意して議会の決議も得ようという段階であり、町民総決起大会の必要はないと考えている。

西原まつりについて

問 十一月三日、四日に開催される第十三回西原まつりは、従来予定会場である町運動公園内の主会場の競技場と、テナント会場の駐車場と一体感がないとの不評の声があるが、会場の設営を再検討できないか伺う。

総務課長 会場全体の一体感を得られる方法を関係課並びに商工会青年部等を含めて再度検討したい。

(1)市町村合併と町長の指導力
(2)台風16号の被害について

前里光信　議員

問 二十一世紀を迎えて少子高齢化の進展、あるいは多様化する住民ニーズ、地方分権の推進、危機的な財政状況等への対応から市町村合併の推進が大きな課題となっております。そこで、町長に指導力を発揮してもらいたいと思っております。町民の大多数がどういう方向で望んでいるのかをまとめあげていく為の指導力と言う事であります。

町長 市町村合併の問題、目下、行政の大きな課題としてのしかかっておりまして、この問題に対する対応の仕方、どうあるべきかと言う事で内部でも課長段階で話を進めつつあります、さらに隣接市町村との事務連絡会等を通して、今後あるべき姿はどうなのかという事で今検討を進めております。合併のメリット、デメリット、これをきちっと整理する事が大事だろうと考えております。先程指導力の話がありましたが、むしろ説明義務を果たすべきだと言うふうに認識を致しております。

問 台風十六号の被害についてお聞きします。

農作物も大きな被害を受けたと思っておりますが、住居が非常に危機的な状況にある家もあるかと思います。私が調査した範囲では西原台団地の小橋川二八八番地の二十一・細川篤さん宅は屋敷の土砂が崩れて、危険な状態にあって、そこに住む事も出来なくて、非常に厳しい事態になっているかと思いますが、この事について町はどういう対応をしているかお聞きします。

総務課長 ご指摘の様に西原台団地の細川篤さん宅の柱の地盤が崩れまして、柱の基礎がむき出しになったという事、それに駐車場の部分が崩落しまして、約二十メートル下の方に落下した。こういう様な被害が発生している訳です。そこで九月八日、九時半頃、東部消防から連絡が入りまして早速関係機関、東部消防、浦添警察署、それに本町総務課職員、土木課職員が現場に急行しまして、その緊急の対策を取りました。

特にブルーシートや砂嚢等を使いまして、がけ崩れがこれ以上進行しないように一応防止策を講じております。同時にこの雨が続くと極めて危険というふうな状況を判断しまして、細川さんに避難の勧告をしました。今後の対応については今地滑り地域、危険地域の指定に向けて関係機関との連携を進めているところです。

こんな質問もしました。

- ▲町役場の庁舎建設と民活（PFI）について
- ▲町内業者の指名状況
- ▲サンエーの西原町進出
- ▲お墓の建設と町の指導力
- ▲認可外保育所の助成
- ▲女性起業家の育成、助成
- ▲水浸し農道の改善
- ▲中学生の進路指導
- ▲高校生の中途退学